

第54回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会 会議録			
開催日時	平成27年4月20日（月）18時から19時30分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室		
出席者	委員	渡邊信久 委員長、田中啓義 副委員長、安田美紗子 副委員長 今井範子 委員、梅林聰介 委員、倉本みゆき 委員、 三浦教次 委員、元島満義 委員、森住明弘 委員、 山口裕司 委員、山本憲宥 委員、吉岡正志 委員、 吉田隆一 委員、 【計13人出席】（欠席：古海忍 委員）	
	事務局	仲川市長、津山副市長、南環境部長、新井環境部次長、 久保田環境部参事、峠企画総務課長、林環境清美工場長、 辰己環境部参事（クリーンセンター建設準備課長事務取扱）、 今田課長補佐、大石主務、胎中主事	
	コンサル タント	パシフィックコンサルタンツ株式会社（枝澤、尊田、山崎）	
開催形態	公開（傍聴人4人）	担当課	環境部 クリーンセンター建設準備課
議題 又は 案件	1、市長あいさつ 2、クリーンセンター建設計画について 3、クリーンセンター施設基本計画策定等業務について 4、その他		
決定又は 取り纏め 事項	1、次回の策定委員会で、稼働までのスケジュールを書面で提出する 2、次回の策定委員会は、事業の進捗に応じて開催する		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1、市長あいさつ			
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年7月に開催した東里地区地域ミーティングで、東里地区自治連合会から、クリーンセンター建設について協議の場を新たに設けることを検討するとの回答をいただいた。 ・建設候補地周辺住民の方々への説明資料の作成を進めるため、昨年度、奈良市クリーンセンター施設基本計画策定等業務委託を発注した。 ・市政の中でも非常に大きな課題であると認識しているため、地元の皆様のご理解を早期にいただけるよう進めていきたい。また、委員の皆様にも、引き続きご協力を賜りたい。 		

2、クリーンセンター建設計画について	
<p>➤ 事務局説明</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、東里地区で地元協議会の設立に向け、人選等の検討を進めていただいている。奈良市としても、東里地区自治連合会に対し、地元協議会を設立していただくよう何度も足を運んでいる。 ・候補地周辺の皆様からのご理解が得られ次第、環境影響評価及び土地の測量・地質調査を実施したいと考えている。
<p>➤ 質疑応答</p>	
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・東里地区地域ミーティングから約10ヶ月が経ち、まだ地域協議会が設立されていないが、今後の見通しを教えてください。 ⇒ (事務局) 地元協議会を設立していただくことが一番のポイントとなると考えている。年度が変わり自治会長等の交代もあった。設立については自治連合会長に窓口となっていたため、自治連合会長に継続的に働きかけを行っていききたい。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・地元協議会の設立及び、その後の奈良市の目標を教えてください。 ⇒ (事務局) 目標は、今後数ヶ月以内に地元協議会を設立して頂くよう働きかけ、地元協議会の場で環境影響についての説明と環境調査のご理解を得た後、今年の秋頃に環境影響評価を実施していきたい。環境影響評価は約4年間かかるため、今年度中に環境影響評価を開始することができれば、平成32年度に工事を着工し、平成35年末に竣工できる予定である。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東里地区の自治会の数を教えてください。 ⇒ (事務局) 10自治会である。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・竣工までに約10年間かかるとのことであるが、現施設をあと10年稼働する予定でいるのか教えてください。 ⇒ (市長) 焼却施設を仮説的に建設することは難しいため、現施設を補修しながら稼働を維持していく。
<p>➤ 委員からのご意見</p>	
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・東里地区の地元住民の意向も聞きながら地元還元策を十分協議していただき、その上で環境影響評価を開始して頂きたい。環境影響評価の実施に向け、東部住民がどのように心配されているか、それをどう調査に反映させるのかということを、十分協議して頂きたい。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・調停では平成27年3月に新施設稼働の予定であり、8年以上遅れている。現施設が老朽化している中で、稼働を続けていることに問題がある。焼却施設の移転を前提に、現施設を修繕しながら使用するのではなく、大阪への委託なども考えるべきである。
梅林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市長をはじめ、行政にはもう少し地元へ足を運んでいただき、地元協

吉岡委員	<p>議会を設立しながら話し合いの場を持っていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元協議会を作るための環境づくりをどうするかと、地元協議会が立ち上がらなかつたらどうするかを、併せて考えなければならない。行政側の情熱が伝わっているのかが問われているため、頑張してほしい。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の策定委員会で今後の予定を書面でいただきたい。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価を何のために実施するのか、分かるような説明ができるようにしてきてほしい。
3、クリーンセンター施設基本計画策定等業務について	
▶ パシフィックコンサルタンツ株式会社からの説明	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、クリーンセンター施設基本計画、PFI等手法導入可能性調査、建設候補地周辺における付帯施設検討業務の3つの業務を進めている。
▶ 質疑応答	
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の期限はいつまでか教えてほしい。 ⇒ (パシフィックコンサルタンツ株式会社) 今年度の9月末を予定している。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント業者が東里地区へ出向いたか教えてほしい。 ⇒ (事務局) 出向いていない。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災以降、環境省から、ごみ焼却施設をエネルギーセンターとして、社会のインフラ機能と位置付けていくような話が出ている。 ⇒ (市長) 国の政策の方針転換も織り込み、有利な財源が使える方法を検討していきたい。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの有料化を行うと、ごみは減量される。ごみの有料化と併せて施設規模も検討していく必要がある。 ⇒ (市長) ごみの有料化を行っている近隣自治体も増えており、ごみの有料化の検討と足並みを揃えることは重要だと思っている。
倉本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーセンターを建設して新工場への交通量を減らすという話であるが、市民が集まる付帯施設を建設すると交通量が増える。どのような方針を考えているのか教えてほしい。 ⇒ (事務局) 交通量も含め、その地域にあった施設を検討していく。
4、その他	
▶ 次回の策定委員会について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況に応じて開催する。
資 料	次第